

教育部長の仕事宣言！ 進行管理表

教育部長 園木 一博

〔リープロの名称「多様な文化が息づくまちプロジェクト」〕

〔目標値：市民文化祭参加者数目標値：7,500人、鳥栖市重要文化財の指定件数目標値：25件、多目的ホールトレーニングルーム利用者数目標値：10,000人、「フィット鳥栖」会員数目標値：500人〕

〔リープロの概要：スポーツ文化を通じたまちづくり〕

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	アウトリーチ事業、市民文化祭事業、勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業、各種講座・展示会開催、生涯スポーツ普及事業、スタジアム大規模改修事業、スポーツ団体指導者育成事業、シティミュージアム構想
	自己評価	アウトリーチ事業、市民文化祭事業、スタジアム大規模改修事業等の取り組みは概ね計画通りの進捗を図ることができた。
	下半期への対応	アウトリーチ事業や市民文化祭や様々なスポーツイベント等市民に親しめる事業として取り組んでいきたい。また、スタジアム大規模改修事業については、公式戦等の十分な調整を図っていきたい。
下半期	取組実績	勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業、各種講座・展示会開催、生涯スポーツ普及事業、スタジアム大規模改修事業、スポーツ団体等指導者育成事業
	自己評価	計画的な事業の実施が概ね出来ており、特に、スタジアム大規模改修事業については、芝の張り替えも完了し、Jリーグ開幕を迎えることができた。
	目標値の達成状況	フィット鳥栖会員については、目標達成が困難な状況であることから、今後の運営方法を含め、見直しを進めていく。
	次年度への対応	スタジアムについては安全点検結果を踏まえ、緊急性等を考慮し、改修計画を策定する。また、体育施設や文化施設の適正管理に努めるとともに、市民に親しんでもらえる文化・スポーツ事業の推進を図ってまいりたい。

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
3	3	4	10

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期

鳥栖スタジアムの計画的な修繕に配慮すること。

下半期

鳥栖スタジアム改修計画については、安全性を十分考慮したうえで策定すること。
フィット鳥栖については、会員数増に向けた新たな取組を検討すること。